



2019年2月28日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 谷 匡 治  
(コード番号：4584 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 栄 靖 雄  
経 営 管 理 本 部 長  
(TEL. 011-876-9571)

## 千寿製薬株式会社との眼科治療領域のバイオ後続品（バイオシミラー）の 国内における第Ⅲ相臨床試験の患者登録完了のお知らせ

当社は、2017年11月9日付「千寿製薬株式会社との眼科治療領域のバイオ後続品（バイオシミラー）の第Ⅲ相臨床試験開始のお知らせ」にて公表いたしました千寿製薬株式会社（以下、「千寿製薬」といいます。）との共同事業化に基づき開発を進めている眼科治療領域のバイオシミラー（以下、「本製品」といいます。）につきまして、今般、第Ⅲ相臨床試験の患者登録が完了いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

本製品は、加齢黄斑変性症などの眼科疾患を抱える患者様に対して症状を改善する目的で使用するのであり、同治療領域における2017年度のバイオ医薬品売上規模は、国内で約833億円、海外で約10,500億円と算定<sup>\*1</sup>しております。本製品の対象疾患は加齢を要因として発症するケースが多く、高齢化社会が進む我が国においては患者数が増加傾向にあり、加齢黄斑変性症のみでも推定患者数69万人（2007年時点）<sup>\*2</sup>ともいわれております。本製品は、千寿製薬の主導の下、2017年11月に国内における第Ⅲ相臨床試験を開始し、今般、同試験における最終の患者登録が完了いたしました。引き続き、本製品の製造販売承認取得を目指し、共同事業化を鋭意推進してまいります。また、国内のみならず千寿製薬との協業の下、本製品をより市場規模の大きい海外への展開も積極的に推進してまいります。

本件に伴う2019年3月期の業績への影響は軽微の見通しです。

（ご参考）

- ・2017年11月9日付「千寿製薬株式会社との眼科治療領域のバイオ後続品（バイオシミラー）の第Ⅲ相臨床試験開始のお知らせ」
- ・2016年5月12日付「千寿製薬株式会社との眼科治療領域のバイオ後続品（バイオシミラー）にかかる共同事業化契約の締結に関するお知らせ」
- ・2015年11月12日付「千寿製薬株式会社との眼科治療領域のバイオ後続品（バイオシミラー）における資本業務提携にかかる基本合意書締結のお知らせ」

\*1 販売各社の決算資料を基に当社算定

\*2 出典元：難病情報センターホームページ（2017年11月現在）から引用

以 上